

生誕の地とこの像を結ぶ ビクトリアロード

今も昔も変わらない
中津川の流れを
見つめ
何を想うのか



盛岡市役所北側、与の字橋たもとにある新渡戸稲造像。1976年11月にその偉大な功績を後世に伝えるために建立されたブロンズ像で高田博厚によるもの。この彫刻は、高い理想に燃えながらも、現実の無理解と闘わなければならなかった稲造の苦悩と強さを表現したものとされています。

時は流れ新渡戸稲造を縁に盛岡市はビクトリア市と姉妹都市となり、1995年に姉妹都市提携10周年を記念して、生誕の地である下の橋たもとの「新渡戸緑地」からこの胸像までの中津川右岸沿いの道路がビクトリアロードと名付けられました。美しい自然と歴史・文化を感じられるこの通り沿いには、数々の彫刻や歌碑もあり、盛岡を代表する散策路となっています。

写真奥には、岩手が生んだ日本を代表する彫刻家・舟越保武による作品「はばたき」を見ることができま

